

地域づくりネットワーク会議 ニュース

～ 第37号 ～

『平成27年度 第3回「マルシェ会議」』を開催しました！！

地域の人々に親しまれ、さまざまな人々に有効活用される「（仮称）大江緑道」の魅力づくりの方策を検討するため、地域づくりネットワーク会議を実施しています。

平成28年2月2日（火）、「海津マルシェ」の今後の取り組みについて、関係者、協力者で会議を行いました。また、今年度で社会実験としてのマルシェが終了することから、本会議には松永清彦海津市長にもご参加頂きました。今号のニュースでは、会議の内容や参加者の意見をお伝えします。

■ 平成27年度 第3回「マルシェ会議」の概要

日 時：平成28年2月2日（火） 13：30～15：30
 会 場：アクアワールド水郷パークセンター内パークセンターホール
 参加者：物販社会実験関係者、事務局 25名
 主 催：国土交通省中部地方整備局木曾川下流河川事務所
 共 催：海津市



■ 討議内容

- (1) 海津マルシェ2015開催報告
 - (2) 今後のマルシェについて
- 司会・進行：滋賀県立大学 客員准教授 森川 稔 先生

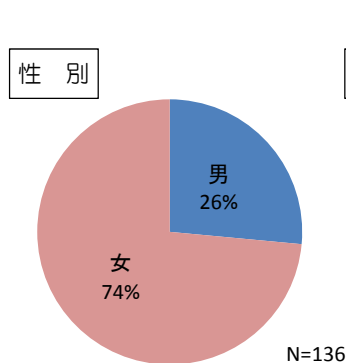


■ 海津マルシェ2015開催報告

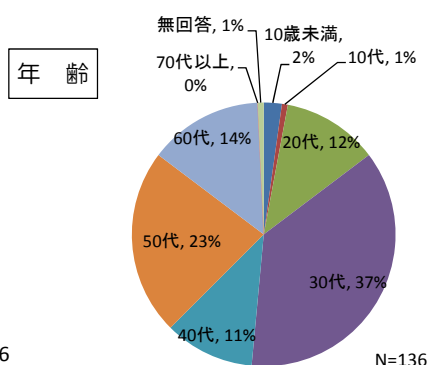
海津マルシェ2015の開催概要および、来場者アンケート結果から、成果と課題について振り返った。

□ 来場者アンケート結果

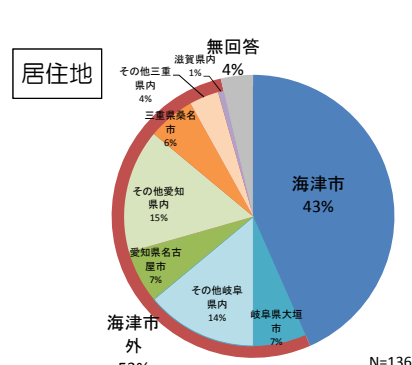
（マルシェ当日10/24（土）、25（日）両日実施、回答数136票（2日間計））



▲回答者は、男性が1/4、女性が3/4の割合であった。

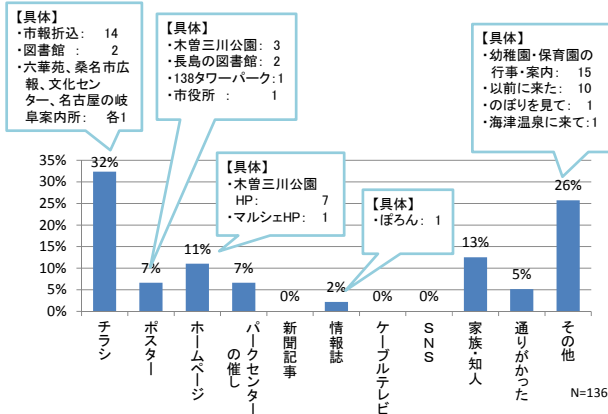


▲回答者の年齢は、30代が最も多く37%を占める。



▲海津市内が43%、海津市外が53%であった。

開催を知ったきっかけ



▲「チラシ」が最も多く32%、次いで「家族・知人」「ホームページ」が多かった。また、「チラシ」と回答した方のうち、最も多いのは「市報折込」であった。

マルシェの良かったところ、改善すべきところ

マルシェの良かったところ



マルシェの改善すべきところ



▲良かったところは、「ハロウィンイベントとの連携」を挙げる声が多かった。改善すべきところは、「食べ物のブースを増やしてほしい」の意見が最も多い。

□ 本会議における意見

- ▶ 今後、集客が増えると駐車場の問題が出てくると思われる。マルシェの日だけでも臨時駐車場があると良い。
- ▶ 市の広報誌の折込チラシは非常に効果があったと言える。今後とも是非続けていただきたい。
- ▶ 海津市ボランティアガイドの会では、海津市の見どころ情報発信に協力できた。

■ 今後のマルシェについて

これまで社会実験で活動してきた「海津マルシェ」は今年度で終了し、その経験を活かして地元有志らによって立ち上げられた「アクアマルシェ」に活動を引き継ぐことで、合意が得られた。

今後は、「海津アクアマルシェ」として、地域主導の実行委員会形式により運営していくこととなる。詳細な実施体制及び規約は、今後実行委員会で取り決める予定である。

<会議のまとめ>

- 海津マルシェ、アクアマルシェの融合について、双方ともに合意が得られた。
- 今後の活動名称は「海津アクアマルシェ」とする。
- 運営は、地域主導型の実行委員会形式で行うこととする。
- 海津アクアマルシェの実施体制及び規約は今後、実行委員会で取り決める。



発行：国土交通省 中部地方整備局 木曾川下流河川事務所 河川公園課
TEL：0594-24-5719
<http://www.cbr.milt.go.jp/kisokaryu/>